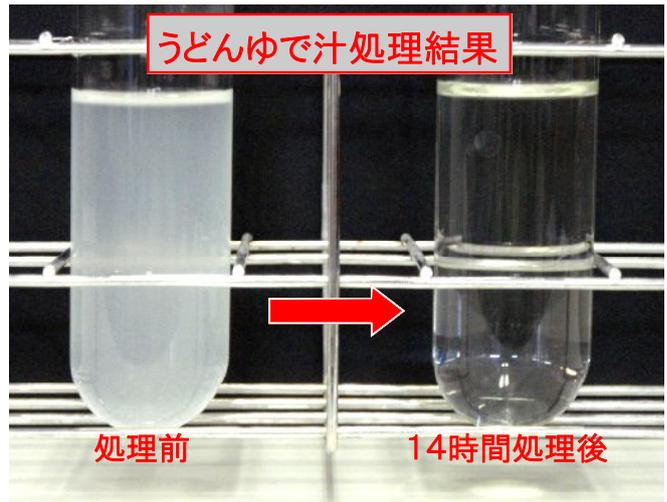


GEN麴菌排水処理システム



対象顧客

無洗米工場
うどん工場
弁当工場
外食産業セントラルキッチン
製粉工場

農林水産省2009年度グリーンプロジェクト補助事業

排水処理にカビを使うという非常識

従来活性汚泥処理などの排水浄化技術においてはカビは禁忌とされてきました。それは排水中でカビは綿のように増殖しバルキング等目詰まりの原因となるからです。

何故米の研ぎ汁の処理は難しいのか？

従来活性汚泥法等の排水処理技術においてはC/N比(炭素と窒素の割合)が6程度が最適とされてきました。しかし澱粉質の多い米の研ぎ汁やうどんのゆで汁のC/N比は20を超えます。だから従来の処理法ではコストがかかるのです。

排水処理に麴カビを使うという革命

一方麴カビは古来米麴など澱粉質の多い有機物を好みます、しかも安全。我々はこの麴カビでC/N比の高い排水を処理するという革命に成功したのです。しかも麴カビを発芽段階で制御する事により水中での成長を綿状から紙状に変える事にも成功しました。この結果排水におけるバルキング等のトラブルからも解放されたのです。しかもわずかではありますが増殖した麴の菌体は粗蛋白を40%も含み大豆粕に匹敵する高蛋白飼料として再利用が出来るのです。

(株) 源麴研究所

鹿児島県霧島市溝辺町麓876-15

電話 0995(58)3101
FAX 050(1226)3861
<http://www.genkoji.com>